

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞	診断支援システム DSS を用いた検体検査データの観察研究 2
＜研究機関・研究責任者名＞	日本大学医学部附属板橋病院 臨床検査医学科（研究責任者）中山 智祥
＜研究期間＞	機関の長の初回許可日 ～ 令和 11（西暦 2029）年 3 月 31 日
＜対象となる方＞	1999 年 1 月 1 日～2024 年 3 月 31 日の期間に当院で臨床検査を受けられた方で 18 歳以上の方。
＜研究の目的＞	病院で実施される採血や採尿、採便、髄液採取等から得られる検査データは患者さんの病気の状態を判断し、治療を行うのにとっても重要な役割を果たしています。この研究では、今までに当院で集められた臨床検査のデータを新たに導入した機械で統計解析し、検査データから病気の状態を正確に把握するための新たな指標を探したり、誤った判断を起こす原因を探したり、検査データの重大な見落としを防ぐ仕組みを作り上げることを目的とします。
＜研究の方法＞	これまでに当院で行われた、採血、採尿、採便、髄液採取等から得られた臨床検査のデータを解析します。経過との関係を調べますので、カルテに記載されている患者さんの年齢、性別、診断名、治療の内容、内視鏡や画像の他の検査結果等のデータを使用させていただきますが、匿名化された情報を使用します。この研究はこれまでに得られた情報を使用するだけです。患者さんが新たな検査を受けていただいたり、費用のご負担をいただくことはありません。またこれらの結果は、統計処理を行って集計しますので、患者さんのお名前や個人情報が明らかになることはありません。 本研究の対象となられる患者さん、あるいは既に亡くなられた方のご遺族の方、また何らかの理由でご本人が意思を示すことが不可能な場合は代理人の方で、本研究にご賛同いただけない方は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。この研究にご賛同いただけなかったとしても患者さんに不利益が生じることはありませんので、ご安心ください。また、同意撤回を頂いても論文公表後は修正できませんご了承ください。
＜研究を実施する機関組織＞	日本大学医学部附属板橋病院臨床検査医学科
＜お問い合わせ窓口＞	日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1） 臨床検査医学科 氏名：中山 智祥 電話：03-3972-8111 内線：（医局）2752（PHS）8205

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方